



みなと

みなと 40号 2013年6月1日
兵庫県声の図書赤十字奉仕団
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-4-5
日本赤十字社兵庫県支部内
(Tel)078-241-9889 (fax)078-241-6990
代表者 大下 操
編集者 久保田加奈女

平成 25 年度声の図書赤十字奉仕団総会

平成 25 年総会は、4 月 20 日（土）午前 10 時より 7 階会議室にて開催されました。

団員総数 133 名、出席者 48 名、委任状提出 67 名（総会当日受付報告数）

支部より逢坂嘉弘事業部長、松本和子ボランティア係長、足立和愛主事のご出席をいただきました。司会は羽島敦子さん（はあもにい）、議長に中桐美齢さん（ともしび）を指名、24 年度・25 年度の各報告は全員異議なしで無事終了しました。

任期満了の役員、委員長 淡路忠義さん、副委員長 松村陽子さん、会計監査 信濃静子さんの 3 名は退任され、今年度新役員に、委員長 大下操さん（青年）、副委員長 中山君子さん（神戸 YWCA）、会計監査 平野治子さん（こすもす）の 3 名が承認されました。

任期を終えられた、淡路忠義さん、1 年間でしたが快く委員長職をお引き受け頂き、サポートしてくださいました。また、松村陽子さん、信濃静子さん、2 年間の活動に感謝いたします。本当にお疲れ様でした。

25 年度本部役員

委員長	大下 操	（青年）	新任
副委員長	久保 麗子	（あかりの会）	留任
副委員長	中山 君子	（神戸 YWCA）	新任
書記	久保田 加奈女	（はあもにい）	留任
会計	佐竹 洋子	（ともしび）	留任
会計監査	平野 治子	（こすもす）	新任

よろしくお願ひ致します

総会終了後、支部から逢坂事業部長、松本ボランティア係長、4 月に入社されたばかりの初々しい足立和愛さんからご挨拶をいただきました。また日下課長と大宅主事も途中から参加され、ご挨拶を頂戴しました。いつも声奉の活動にご理解とご協力いただき、感謝しております。今期もどうぞ宜しくお願い致します。その後、懇親会が行われ 6 テーブルにそれぞれ分かれて座り、引き続き逢坂事業部長、松本ボランティア係長、足立主事にもご参加いただき昼食を共にしました。羽島さんの名司会に導かれ、和気あいあいとした雰囲気の中、各作業チームに関わっておられる団員の皆さんのお話から普段の作業内容を詳しく知ることができました。

前本部役員の皆様からひとこと



歳の所為でしょうか、時の経つのが早く感じられます。
突然の依頼を受け大役を任されたのがついこの前のように思います。
技量不足で何の貢献も出来ぬまま、退任させて頂きました。
1年間で何とか無難(?)にやってこられたのも支部の皆様、団員の
皆様のご指導とご支援の賜物と心より感謝しています。
ありがとうございました。

あかりの会 淡路 忠義

2年前、副委員長として、役員の一角にはいらさせていただいて、無事役目を終え、正直
ほっと開放感を感じております。
役員をしたことで、日赤や奉仕団について、初めて「ああそうなのか」と知ったことが、
たくさんありました。また、支部の手厚い支援、協力的な団員の皆様あつての活動だど
いうことも実感いたしました。
2年で役員が交代することには、マイナス面もありますが、いろいろな人が他人事でなく
奉仕団の運営にかかわることで、裾野が広がるというプラス面は大きいと感じました。
惰性に落ちいらず、適度な緊張感をもって続けられる点でも、ちょうどよい長さかもしれ
ません。新役員の皆さまの頑張りを期待しております。どうもありがとうございました。

ともしび 松村 陽子

2年前、私に会計監査が務まるのかと不安な気持ちで一杯でした……………
皆様のお陰でなんとかお役を終えることができました。皆様に感謝しています。
いつも 熱心に活動されている団員の皆様には、頭が下がる思いです。
皆でいいものを作ろうと頑張っておられます。これから私もいいテープ作りに
頑張ります。私にとっては、沢山の方とお会いできた有意義な2年間でした。
本当にありがとうございました。

ことばの花束 信濃 静子

新本部役員のひとこと

この度、声の図書赤十字奉仕団委員長を務めさせていただきます青年 G の大下操と申します。実はこのような大役を私に務めることができるのかと、身の引き締まる思いでおります。日頃の奉仕団室での活動から団員相互の熱意や連携、リスナーの皆様との繋がりを思います時、微力ながら務めさせていただこうと思っております。私たち声の図書の出発点である心の通う図書を、より聞きやすい図書を提供したいという願いは、長い歴史を経て尚、受け継がれリスナーの皆様の中に根を張り、大きく成長しています。これまで活動を続けてこられました団員の皆様お一人お一人にとりましては、決して平坦な道ではなかったと思いますが、今後も、次世代においても、しっかりお役立ちできる、進化していく声の図書を守っていきたいと思います。皆様のご指導ご鞭撻をよろしく願いいたします。

委員長 大下 操(青年)

はじめまして！！

ベテランの方が多い声の奉仕団にあって、何故か入団二年半の私が副委員長をさせて頂く事になりました。ボランティアルームに行っても分からない事が多くありますし、お顔とお名前が一致しない方がいらっしゃいます。でも、任期の二年間が終わる頃には、少しはお役に立てたかなと思えるように頑張りたいと思います。皆さまからの御支援・ご指導をよろしく願いいたします。



副委員長 中山 君子(神戸YWCA)

就任の挨拶

グループを越えてのボランティア活動をと時々聞いてはいましたが、現実には自分の属しているグループのお仲間と活動していました。しかしこの度 会計監査という役目を受け持つことになり、他グループの方とお話する機会も増え、広く日赤の声奉の団員であることを改めて認識し世間が広がった感が致しました。微力ではございますが、どうぞ2年間よろしく願いします。

会計監査 平 野 治子(こすもす)

支部事業部奉仕課職員自己紹介

日下 幹生 奉仕課 課長

2年前、姫路赤十字病院が最後の勤務地と思い転職いたしました。縁あってまた支部奉仕課に戻ってまいりました。いたらない点多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。本年度からは新しい課員も増え、4人体制で頑張っておりますのでこれまでも増したご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

松本 和子 奉仕課 ボランティア係長

こんにちは。今年度4月から奉仕課に異動してまいりました、松本和子と申します。兵庫県支部には長く勤めておりますので、団員の皆さまの中には、以前から顔見知りの方も何人かいらっしゃいます。これまでも他課の業務、特に広報をやっているときには、声の図書赤十字奉仕団の皆さまには随分お世話になりました。そして、このたび初めて皆さまの活動に直接関わることができ、たいへん嬉しく思っています。何かとお手数かけることも多いかと思いますが、今後ともよろしくお願いいたします。

足立 和愛 奉仕課 主事

はじめまして。4月に赤十字に入社しました、足立和愛（あだちわかな）です。大学4年間はボランティア活動をしていましたので、奉仕課に配属され、声の図書赤十字奉仕団の皆様をはじめ、多くのボランティアの方々と接する機会があることをとても嬉しく思います。初めてのことで緊張や不安もありますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



松本ボランティア係長

日下課長

足立主事

大宅主事

デージー班だより

今回は、デージー単行図書についてお話いたします。

2009年から、デージー版の単行図書の製作が始まりましたが、現在の蔵書（CD）は、112冊までになりました。

リスナーさんからのご希望本や、単行図書検討会の推薦本、自薦本など、多数の録音にご協力くださり、本当にありがとうございます。

では、声奉の単行図書をリスナーさんにお届けするまでの流れを、簡単にご紹介しましょう。

*リスナーさんからのご希望を聞き、推薦図書を選び、録音のお願いをします。

完成した図書や録音中の図書を、毎月の単行通信にてお知らせしています。（単行図書検討会）

*単行図書は、単行本、新書、文庫本等を、マニュアルに従って録音製作します。

（6月1日発行の「録音図書製作マニュアル」には、単行図書製作に関して必要な資料が添付されています。録音に際しては、マニュアルの添付資料を参考にしてください。）

*録音に着手してからCD完成までの過程を、録音者とデージー班が担当しています。

単行図書を製作する場合は、デージー編集が必要です。

（実際の本の通りにページ付けをし、目次通りにセクションを分け、粹アナウンスを読みます。）

また、最終校正者として、デージー編集の校正をし、マザーと貸出用のCDを製作します。

*完成した図書を、日赤の蔵書として、登録します。（こすもすG）

*完成した単行図書を、ご希望のリスナーさんへお届けし、受け入れをします。

また、蔵書の目録を製作しています。（ことばの花束G担当）

*点字の目録は、点字班が担当しています。

様々な関係者の連携によって、単行図書が完成します。

以上、単行図書の製作・完成後の流れを簡単にお知らせしました。

デージー図書になってから、テープの頃よりたいへん音質がよくなりました。

1枚のCDに50時間もの録音が納まりますので、リスナーさんは何巻ものテープを扱う手間が省けます。また、好きなページに跳ぶこともできます。

これからも、素晴らしい蔵書が増え、リスナーさんのお手元にたくさんの図書が届きますように、ご協力をお願いいたします。

また、青年グループが製作してこられた季刊誌「つちのこ」は、7月号より、グループの粹を外し、声奉の単行図書のご紹介を中心に製作します。皆様からの投稿（録音）を、たくさんご紹介したいと思っておりますので、読みたい文章に出会われましたら、是非、録音して、神坂までご連絡をお願いいたします。

神坂順子（こすもす）

点 字 班

「点字班のデスクを設置していただきました」

点字班も発足して8年目ともなると資料や機器類も増え、その置き場所もボランティアルームに点在していたため、決して使い勝手が良いとはいえない状況になっておりましたが、このたび役員さんのアドバイスと支部のお力添えで、専用デスクを設置していただきました。

デスクの設置場所は、廊下側デイジー班デスクと全奉仕団共有パソコンとの間です。そして、点字プリンタ（テープやCDラベル作成、学校講習用資料作成などになくてもはならないもの）も、点字班デスクに並べて収めることができました。

点字班コーナーができたことに心から感謝するとともに、今後は点字班員だけでなく多くのかたに点字への関心を深めて、また気軽にご覧いただき使っていただけるようにと、この機会に現時点での点字班の関係資料や機器類の置き場所をお知らせいたします。

これからも点字を必要とされるかたがたに寄り添った点字班活動ができますよう、メンバーで力を合わせていきたいと思っております。点字班への率直なご意見やご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

「点字班 資料と機器類の置き場所」

A. 点字班の戸棚

- ・点字器（4行用と12行用）ケース入り
- ・項目別ファイル（録音図書目録・メッセージカード用文章・子どもたちへのメッセージ集・点字班学習用資料・活動記録 他）
- ・メッセージカード入れ（点字校正済みの完成カードと未完成カードに分けておく）
- ・カラーコピー紙（メッセージカード墨字などに使用）
- ・点字班データ（バックアップ用 USBメモリ・FD・CD）
- ・リスナーや団員から寄付された点字本や点字カルタなど
- ・リスナーや団員からの個人依頼資料 その他

B. 学校講習用資料（無線奉仕団キャビネットの右隣）

- ・点字五十音表タペストリー（縦長ダンボール箱）
- ・点字マグネット表（縦長段ボール箱）
- ・黒のキャパスケース
 - 6点位置表示パネル、残り時間表示カード、模造紙の点字五十音表
- ・黒の籠
 - マグネットボタン、棒状マグネット、指示棒など

12行点字器（点字用紙をはずさずに凸面校正ができる点字器）

参考資料「子どもたちへのメッセージ集点訳冊子」

- ★全生徒に配布する「墨字つき点字資料」と「点字一覧表」はデスクの整理棚2段目に保管)
(二クラス同時進行の場合は、すべての資料について同じものを二クラス分準備する)

C. 点字班デスク

プリンタ ノートパソコン デスクトップ

- ・デスクの整理棚1段目

青のプラスチックケース

点訳ソフト専用USB (点字編集システム操作時必須)

点訳ソフトインストール用CD

大きな黒のファイル

墨字付き点字ラベルシート (花時計・旅・PHP・雪・声のアルバム)

(現在あじさい・やまなみは青年G、かざぐるまはそよかぜGが管理)

缶箱

点字用紙 (普通紙とタックペーパー) と点字器4行用と12行用を一つずつ

- ★リスナーのみなさんにいつでも気軽におたよりが書けるように

点字用紙と点字器をセットで置きました。

点字用紙の使用記録ファイル

- ・デスクの整理棚2段目

学校講習全生徒配布用 墨字付き点字「おてがみ」 と **点字一覧表**

- ・デスク下の整理棚

点字タイプライター 3台 (リスナー寄付)

ノートパソコン (メンバー寄付)

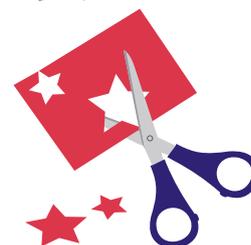
パソコンと周辺機器のマニュアル類

D. デスク左側キャスター付き台

点字プリンタ及び、主に点字印刷用のノートパソコン

(メンバー寄付の点字冊子送付用クッション材は、無線奉仕団キャビネットの後ろ)

福井 克子



お詫び：原稿をご準備頂いていたにもかかわらず、編集不備でご迷惑をおかけしました。
40号と合わせてお読みください。

日赤声奉の朗読・音訳を見直す会（「みなと」39号）

2012年度は昨年につき毎月第3水曜日13:30からミーティングをいたしました。今年度は、佐伯かをる先生のご指導による4回の勉強会を行いました。毎回12～13人のテキストの録音を聞き、講評を頂くといった方法で持たれましたが、50人ばかりの出席者が、グループ枠を超えて、声の図書赤十字奉仕団員として、より良い声の図書発行のために頑張りました。同じ文章でも読み手の捉え方によって表現が変わることや、どういう読みが、わかりやすく相手に伝わるかという事など、多くの学びがありました。

パソコンでの直録音も進み、録音図書製作マニュアルの纏めも、概ね出来上がり、6月にはお手元に届くでしょう。今までにも何回かお知らせしていますが、新しく冊子スタイルに致しますので、お手元に置いて活用いただければ幸いです。

昨今の世の中の変化はめざましく、いろいろ変わっていき、見直しは常に必要と思われまます。皆様のご意見を受けて、また次へのステップを踏まなければならないでしょう。

片山恵



<朗読・音訳を見直す会>

念願の「兵庫県声の図書赤十字奉仕団 録音図書製作マニュアル」が出来あがりました。日赤のリスナーさんに、聴きやすく・心地よい朗読や音訳を届けられるようガイドラインの検討を重ね、また声の図書奉仕団の4人の先生方にアドバイスをいただきながら、一冊のマニュアル本として纏まりました。

「録音図書製作マニュアル」の冊子は、既に声の図書奉仕団員全員に配布されています。この冊子の構成は、「録音前の準備」「デジタル録音」「読みの基本」「処理」「校正」の順で、さらに添付資料として「PHP 月刊誌の読み方」「デイジー単行図書仕様書」が入っています。

これまで経験されなかった団員も図書の録音を身近に感じていただき、数多くの団員の参加で、より多くの録音図書が出来ますことを願っております。

朗読・音訳を見直す会では、今後、この冊子での録音製作過程で気づかれたこと等のご意見をいただき、必要に応じ見直し、より良いマニュアルとなるよう活動いたします。

そして昨年引き続き、「朗読勉強会」の企画や「読み方カード」の活用などに取り組んでいきたいと思っています。

声の図書奉仕団員全員が、日赤のリスナーさんに喜んでいただけるよう、よりよい朗読・音訳に励んでいきましょう。

なお、活動は二ヶ月に一回（奇数月）となり、また「日赤声奉の朗読・音訳を見直す会」を「朗読・音訳を見直す会」と改称いたしました。

三木京子



朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳に必要なと思われることを発信していきます。
今回は、数詞の基本的なアクセントと読み方Q&Aです。

I. 数詞のアクセント

(1) 「十一」から「十九」

尾高型：十一、十二、十四（ジューシ）、十六、十七（ジューシチ）、十八

頭高型：十三、十五、十九（ジューク）

中高型（後に書いている語まで高く読みます）：十四（ジューヨン）（ヨ）、
十七（ジューナナ）（前のナ）、十九（ジューキュー）（キュ）

〈参照〉三省堂「新明解日本語アクセント辞典」（声奉蔵書）付録P38

「NHK日本語発音アクセント辞典」（声奉蔵書）付録P224

(2) 数詞+助数詞

・「～年」

中高型：一年（チ）、六年（ク）、七年（ナナネン）（後のナ） / （シチネン）（チ）、
八年（チ）

頭高型：二年、九年（キューネン）、十年

平板型：三年、四年、五年、九年（クネン）

* 数詞+助数詞のアクセントについては下記をご参照ください。

〈参照〉三省堂「新明解日本語アクセント辞典」付録P41～49

「NHK日本語発音アクセント辞典」付録P63～89

II. 読み方Q&A

Q：パソコン用語のPC、HDはどのように読みますか？

A：同一作品で初めて出た場合は、「PC（ピーシー）、パソコン」「HD（エイチディー）、
ハードディスク」と説明を入れて読み、2回目からは、「PC」「HD」だけを読んでくださ
い。

* パソコンを使う人は知っている用語ですが、声奉のリスナーさんの多くが高齢者
ですので、一度説明を入れた方が良いでしょう。

ボランティアルームのメールボックス付近に、透明なボックスを置いています。

読み方カードを入れていますので、読み方についての、疑問質問提案を記入していただければ、
見直す会で検討して、お答えいたします。よろしく願いいたします。

池内早苗



平成24年度 単行図書貸し出しランク表

		2012.4.1～2013.3.31 於		
	書名	著者名	貸し出し開始日	貸し出し回数
1	老いる覚悟	森村 誠一	2012.04	13
2	神様のカルテ	夏川 草介	2012.03	11
	とんび	重松 清	2012.07	11
3	くじけないで	柴田 トヨ	2010.09	9
4	ああ、腹立つ	阿川 佐和子 他	2006.05	8
	青春の傷痕	三浦 光世	2012.06	8
	阪急電車	有川 浩	2010.12	8
	百歳	柴田 トヨ	2012.08	8
5	奇跡の人 ヘレンケラー自伝	ヘレンケラー 小倉慶朗訳	2012.12	7
	さくら色オカンの嫁入り	咲野 月音	2010.04	7
6	生きる勇気、死ぬ勇気	五木 寛之 帯津 良一	2010.12	6
	親鸞(下)	五木 寛之	2011.11	6
7	愛、深き淵より	星野 富弘		5
	赤毛のアン	モンゴメリー 村岡 花子訳	2005.02	5
	風の旅	星野 富弘		5
	先生あのね、ダックス先生のあのねちよう教育	鹿島 和夫	2012.01	5
	ぼけていく母と笑って生きる	川口 あい	2009.04	5
	舟を編む	三浦 しおん	2012.09	5
8	赤朽葉家の伝説	桜庭 一樹	2012.09	4
	あしたの太鼓打ち	林 英哲	2001.07	4
	綾子 光世響き合う言葉	三浦 光世 三浦 綾子	2010.02	4
	親不孝長屋	池波正太郎 山本周五郎 他	2009.09	4
	銀の道一条	玉岡 かおる	2009.02	4
	紅梅	津村 節子	2012.09	4
	親鸞(上)	五木 寛之	2011.07	4
	ターシャテューダー最後のことば	セス テューダー	2010.02	4
	蝸の記	葉室 麟	2012.11	4

24年度の貸し出し状況をお知らせします。昨年度は貸出冊数が減りましたが、今年度は増加が
 見られました。録音して下さる団員も増えてきています。推薦図書も多くの方に借りて
 いただいているようで、これからも皆様のご意見を伺いながら、選書していきたく思います。

50周年記念委員会

日赤声奉 50周年を皆さんで盛り上げましょう！！

いつの間にか50年が経ちました。

あの「あゆみ」を手にしてから10年です。40年間のずっしりとした重みを感じる厚みのある冊子は「私たちの活動の集大成」でした。まさかそのあとの10年目が元気で迎えられるとは・・・古くからの方皆さん、感無量かと思います。またその後、入団された方も声奉の歴史に触れ、驚き、感動し、日々の活動の糧にして仲間との絆を強めていらっしやることでしょう。

発足した50周年委員会では、各グループからの委員が記念誌班と作品班に分かれて早くから内容検討、推敲を重ね、進めています。各グループの活動以外の作業ですので、急に忙しさが加わりました。役員や運営委員さん、諸連絡をお世話になります。

50周年の委員会の皆さんは大忙しですね。作品はどれもグループ枠を超えて適材適所、委員会の権限でお願いをして快く引き受けていただきました。何事も体力勝負、お体には十分に気をつけて、どうかよろしくお祈いします。

式典が、10月26日に7階の大会議室で行われることになりました。支部のご協力あればこそこのセレモニーです。有難うございます。

また11月23日、通常通りの交流会がリスナーさんとのお祝いを兼ねて行われます。今年も特別。皆さん！力を合わせて日赤声の図書50周年をお祝いしましょう。

50周年記念委員会 委員長 羽島 敦子





リスナーお便り

花時計 3月号に寄せて

香山良樹さん

3月10日 うぐいすの初音が聴かれました。

春告げ鳥は美しい声の王様ですね。

そのほかの鳥はあまり聴きわけませんが、花時計を参考にします。昨日まで暖かかったので、うぐいすの音が聴かれました。



花時計 4月号に寄せて

竹田カズコさん

以前若い頃、麴の『京作』で奉公していたので、とても懐かしかったです。

どの坊やが後を継がれたのでしょうか。また、今の様子を聞かせてください。

牧野まりえさん

「まちなかで会える野鳥たち」を聴いて、私が気になっていた小鳥の名を知ることができました。

声のアルバムに寄せて

島貫信子さん

いつもお世話になっております。

体の都合で、しばらくお休みさせてもらったのに、今またこうして聴かせてもらうありがたさに、生きている事に感謝しています。操作がいつまでも解らず、でたらめに押していたら「やまなみ」の皆さんの声を聴くことができました。

牧野まりえさん

いつも盛りだくさんの話題をありがとうございます。

私も非常食を用意せねばと思いました。石田むつみさんの「フィンランドのくらしとデザイン展」を知らなかったのは残念でした。

井上至雄さん

「声のアルバム 4月号」ありがとうございます。

白洲正子さんの「草づくし 蒲公英」がよかったなと思いました。たんぽぽがこんな字を書くのかと、昔を思い出しました。落語の西行の元の話も教えられ、よかったなと思いました。ありがとうございました。



花時計プログラム



花時計4月号 (はあもにい)

A面

1. ワクワク ドキドキどんな人にあえるかな? 姫路独協大学教授 道谷 卓
2. 春の詩 2編

B面

3. 麴が教えてくれた温故知新
4. ちょっとオダサクのこと
5. 変わったタイトルの本
筑摩書房「ないものあります」より
6. 新しい単行図書のご案内
7. お便り

花時計5月号 (神戸YWCA)

A面

1. 相撲の話 (永田健支)

B面

2. 住田郁子 ベトナムの話 (松本裕子他)
3. フライパンの手入れと料理 (山崎和子)
4. 新刊図書案内
5. つもり違い10ヶ条 (片山恵)

花時計6月号 (こすもす)

1. 宮沢賢治没後80周年にちなんで・・・
2. 詩 「雨ニモマケズ」
3. 朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」
4. 暮らしの手帖 『素敵なあなたに』より「トシ子さん」
5. 旅だより「北イタリアのドロミテとコモ湖の旅」
6. お酒のエッセー「古酒の味」
7. 野の花だより「山法師」

花時計担当表 2013年度

担当月	グループ名
7月	あかりの会
8月	ともしび
9月	ことばの花束
10月	はあもにい
11月	神戸YWCA
12月	こすもす

